

■ アジア太平洋無形文化遺産研究 センター（IRCI）の活動例



（IRCI所長 荒田明夫）

世界各地には、それぞれの地域の人々によって何世代にもわたり継承されてきた無形文化遺産があります。しかしながら、近年の急激な社会的変容、すなわちコミュニティの過疎化、生活スタイルの変化、環境破壊などにより、消滅の危機に瀕しているものも少なくありません。IRCIは、無形文化遺産の保護が国際的に充実することをめざして、アジア太平洋地域の無形文化遺産保護に関する調査研究及び情報収集、研究者や研究機関のマッピング活動などを行っています。

子ども達の住む未来が、伝統が育んできた素晴らしい文化であふれているよう、私たち一人ひとりが文化遺産の継承者であるという意識を持って活動に取り組んでいます。

◇ 無形文化遺産保護条約採択10周年記念シンポジウム ◇



パネルディスカッション
「無形文化の力と無形文化遺産保護条約の使命」(堺市)



芸能公演 「カンボジアの宮廷舞踊」

◇ 無形文化遺産保護に関する調査研究のマッピング ◇



無形文化遺産保護に関する調査研究の把握と検討(タイ)



国際専門家会合(マレーシア)

◇ 危機に瀕する無形文化遺産の保護に関する調査研究 ◇



東南アジアにおける無形文化遺産保護に関する
法制度研究 第1回ワークショップ (九州大学)



コミュニティ主導の保護活動のためのICH
ドキュメンテーション事業ワーキングセッション
(東京国立博物館)

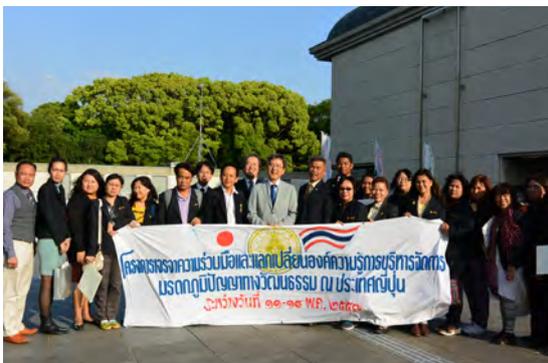


紛争後の国家における危機に瀕する伝統的
手工芸調査 (スリランカ北部・東部)



消滅の危機に瀕する無形文化遺産の保護調査
(ベトナムバクニン省)

◇ 無形文化遺産保護に関する情報収集と情報発信 ◇



タイ王国文化省文化振興局使節団とのミーティング(堺市)



Bangladesh International Mother Language Research Institute 代表者との情報交換(堺市)

IRCIでは、無形文化遺産保護に関する情報を収集・公開するとともに、IRCIの活動を紹介するためにウェブサイトを設定しています。センターのウェブサイトは以下のURLからご覧いただけます。
<http://www.irci.jp/>

